

令和 4 年 5 月 21 日

第 64 回北大祭における新型コロナウイルス感染症対策

北海道大学大学祭全学実行委員会

実行委員長 川島 大和

目次

第 64 回北大祭における新型コロナウイルス感染症対策.....	1
1. 第 64 回北大祭に参加する全ての方へのお願い	2
補足 1,1) 消毒液の設置場所および個数.....	3
補足 1,2) 建物内における動線工夫.....	4
補足 1,3) 各建物の収容人数.....	7
補足 1,4) ステージ企画における人員配置・席配置.....	7
補足 1,5) コロナ感染者や感染が疑われる方の報告系統および対応	8
2. 参加団体へのお願い	11
補足 2,1) 参加団体への周知方法・チェック方法の工夫	12
補足 2,2) 食品提供を伴う模擬店のコロナ対策.....	12
3. 北大祭スタッフの取り組み.....	13
4. 本件に関する連絡先	13

1. 第 64 回北大祭に参加する全ての方へのお願い

第 64 回北大祭に参加される全ての方に対し、以下の点についてご協力をお願いします。以下の点にご協力いただけない場合、第 64 回北大祭からのお引き取りをお願いする場合があります。

- (1) 事前に検温を行い、平熱と比べ高い発熱がある場合や下記の症状等に該当する場合、第 64 回北大祭への参加はお控えしていただくこと。
 - i 咳、呼吸困難、全身の倦怠感、咽頭痛、鼻水・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・吐等の症状がある場合
 - ii 過去 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の陽性判定を受けた方との濃厚接触者（※1）にあたる場合
 - iii 過去 2 週間以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国や地域への訪問歴および当該在住者との濃厚接触にあたる場合
 - iv 同居する家族に i ～ iii のいずれかに該当する場合
- (2) 飲食時以外は常時マスクを着用していただくこと。なお、マスクの種類は原則として、不織布マスクをご利用いただくこと。
- (3) 札幌キャンパス各所に設置された消毒液で、手指をこまめに消毒していただくこと。
- (4) 他者とのソーシャルディスタンスの確保にご協力いただくこと。
- (5) 大声を出すことを控え、また咳エチケットにご協力いただくこと。
- (6) トイレでは個人のハンカチ等を使用していただくこと。また、蓋を閉めてから汚物を流していただくこと。
- (7) 札幌キャンパス各所に設置された QR コードを読み込み、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の「北海道コロナ通知システム」をご活用していただくこと。（※2）
- (8) 厚生労働省の接触確認アプリ（COCOA）をご活用していただくこと。
- (9) 屋内外における通行制限・出入口制限にご協力いただくこと。

※1. 濃厚接触者に該当するかどうかは以下のリンク先の資料に従って判断してください

- https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou_kouhou/kouhou_shuppan/magazine/202109_00005.html
- https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html

※2. 北海道新型コロナウイルス感染症対策本部「北海道コロナ通知システム | 経済部経済企画局経済企画課」（URL：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/coronaalertsyste.htm>）

補足1,1) 消毒液の設置場所および個数

参加団体の構成員や北大祭運営団体（北海道大学大学祭全学実行委員会（以下、当実行委員会）、各祭実行委員会、HUISA）の構成員、来場者の手指の消毒に用いる消毒液の設置個数および場所は以下のとおりとします。

➤ 企画、模擬店

全ての企画、模擬店に少なくとも1つの消毒液を設置します。

➤ 主要施設の出入り口

多くの関係者の利用が予想される以下の施設を「主要施設」と定義し、出入口付近に少なくとも2つの消毒液を設置します。なお、消毒液の設置については各施設管轄部局と個別に相談します。

- 遠友学舎
- 獣医学部棟
- 高等教育推進機構
- 工学部棟
- 医学部棟
- 薬学部棟
- 理学部棟
- 人文・社会科学総合教育研究棟
- 農学部棟
- 歯学部棟

➤ お手洗い

各お手洗いの洗面所付近と出入口付近に少なくとも1つに消毒液を設置します。なお、設置については各施設管轄部局と個別に相談します。

- 遠友学舎
- 獣医学部棟
- 高等教育推進機構
- 工学部棟
- 医学部棟
- 薬学部棟
- 理学部棟
- 人文・社会科学総合教育研究棟
- 農学部棟
- 歯学部棟

補足1,2) 建物内における動線工夫

建物内において三密状態を可能な限り回避するため、一方通行や教室の出入口指定など、主要施設全てにおいて建物別の動線工夫を行います。本文書では、全学実行委員会および榆陵祭実行委員会共同管轄の高等教育推進機構における動線工夫を提示します。

● 高等教育推進機構 1階



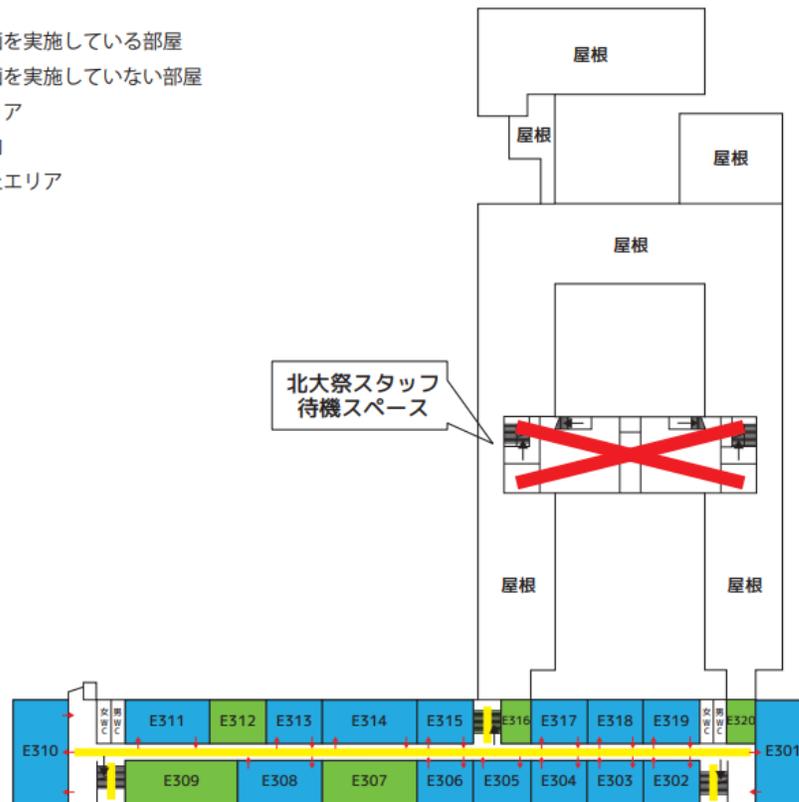
● 高等教育推進機構 2階

- : 例年屋内企画を実施している部屋
- : 例年屋内企画を実施していない部屋
- : 左側通行エリア
- ↑ : 移動規制方向
- ✕ : 立ち入り禁止エリア



● 高等教育推進機構 3階

- : 例年屋内企画を実施している部屋
- : 例年屋内企画を実施していない部屋
- : 左側通行エリア
- ↑ : 移動規制方向
- ✖ : 立ち入り禁止エリア



補足1,3) 各建物の収容人数

主要施設の収容人数を予め算出し、北大祭期間中の収容率を50%以内に抑えます。詳しくは、別途資料の「第64回北大祭における来場者制限案」を参照してください。

以下、主要施設の収容定員数を記載します。（調査中の施設は記載していません）北第64回北大祭期間中は、収容人数を定員の50%に抑えます。

- 薬学部棟：440人
- 高等教育推進機構：3150人
- 工学部棟：700人
- 遠友学舎：120人
- 獣医学部棟：250人

補足1,4) ステージ企画における人員配置・席配置

第64回北大祭において実施予定のステージ企画についてのコロナ対策案について記載します。

ステージ企画についてのコロナ対策案は、内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室策定の業種別ガイドラインのほか、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」に基づき、一般社団法人北海道ライブ・エンタテインメント連絡協議会が作成した「北海道のライブ・エンタテインメントにおける新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」の内容に則って作成しています。詳細は、当実行委員会作成の「第64回北大祭ステージ企画における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を参照してください。

(1) スタッフについて

- 出演者の管理・確認を行います。
- 北大祭スタッフは検温、マスク着用、手指消毒、手洗い、咳エチケットを徹底します。
- 北大祭スタッフは過去2週間の検温と行動履歴のチェックシートの記載を義務化します。

(2) ステージ出演者について

- ステージ上では可能な限り距離を保ち、また大声での発声は極力控えたうえで、パフォーマンスしてもらうことを事前に呼びかけます。
- 出演者はステージ上でパフォーマンスを行う際のみ、マスクを外すことを許可します。
- ステージ出演者の情報は全学実行委員会が管理し、用紙の提出や検温の実施等により、体調の確認を実施します。
- ステージ出演者に北大祭前後2週間の検温と行動履歴を記載するチェックシートの提出を義務付け、不要不急の外出を極力控えるよう呼びかけます。
- ステージ出演者には手指の消毒や手洗いの徹底を呼びかけます。

補足1,5) コロナ感染者や感染が疑われる方の報告系統および対応

第64回北大祭において、参加団体構成員や北大祭スタッフに、コロナ感染者または感染が疑われる方が発生した場合、報告系統および対応は以下のとおりとします。

➤ 第64回北大祭準備期間中（開催1週間前）の対応

第64回北大祭公式Webサイトにコロナに感染したと疑われる場合の連絡先（4.本件に関する記載を参照）を記載します。参加団体構成員や北大祭スタッフから「コロナに感染した疑いがある」と上記の連絡先に連絡があった場合、以下のように対応します。

（ア）第64回北大祭1週間前～5日前まで

（ア-i）団体責任者、副責任者または防災・衛生指導者が感染または濃厚接触者に該当する場合

- ① 代理となる人を団体側から新たに選出し、誓約書の内容を改正します。
- ② 代理となる人に北大祭運営団体から必要な説明を行います。

（ア-ii）責任者以外の方が感染または濃厚接触者に該当する場合

→提出済みのシフトを改正します。

（イ）第64回北大祭4日前～1日前まで

（イ-i）団体責任者、副責任者または防災・衛生指導者が感染または濃厚接触者に該当する場合

→模擬店および企画の実施を禁止します。

（イ-ii）責任者以外が感染または濃厚接触者に該当する場合

- ① 団体構成員の内5人以上または30%以上の人数が感染、濃厚接触者に該当する場合
→第64回北大祭における模擬店および企画の実施を禁止します。
- ② ①よりも少ない人数が感染、濃厚接触者に該当する場合
→提出済みのシフトを改正します。

➤ 第 64 回北大祭期間中の対応

参加団体構成員や北大祭スタッフへ「コロナに感染した疑いがある」と報告があった場合は、北大祭スタッフより本部（高等教育推進機構 N204 北大祭事務局室）へと報告します。

- (1) 本部が「コロナに感染した疑いがある」という報告を受けます。
- (2) 体調不良者の元へ直ちに北大祭スタッフを派遣します。
- (3) 体調不良者を高等教育推進機構に設ける救護室へと案内します。
- (4) 症状を確認し、以下の＜重篤な症状＞に該当する場合は、直ちに医療機関・保健所・学務部の順に連絡し指示を仰ぎます。該当しない場合は（5）へ進みます。

＜最もよくある症状＞

- 発熱
- 空咳
- 倦怠感

＜時折みられる症状＞

- 痛み
- 喉の痛み
- 下痢
- 結膜炎
- 頭痛
- 味覚または嗅覚の消失
- 皮膚の発疹、または手足の指の変色

＜重篤な症状＞

- 呼吸が苦しいまたは息ぎれ
- 胸の痛みまたは圧迫感
- 言語障害または運動機能の喪失

- (5) 症状を確認し、以上の＜最もよくある症状＞または＜時折みられる症状＞に該当する場合は、保健所・学務部の順に連絡し指示を仰ぎます。該当しない場合は（6）へ進みます。
- (6) 症状を確認し、上記のいずれにも該当しない場合は、通常の体調不良者と同様に対応します。
- (7) （6）の対応が終了した後は救護室を十分に換気・消毒を行います。

➤ 北大祭期間後（北大祭終了日から3日以内）の対応

第64回北大祭公式Webサイトにコロナに感染したと疑われる場合の連絡先（4.本件に関する記載を参照）を記載します。

(1) 参加団体構成員から「コロナに感染した疑いがある」と上記の連絡先に連絡があった場合
→保健所への連絡を促し、第64回北大祭期間中の活動についての情報の提供をお願いします。

(2) 第64回北大祭来場者から「コロナに感染した疑いがある」と上記の連絡先に連絡があった場合

→保健所への連絡を促し、参加した企画等についての情報の提供をお願いします。

※3. 保健所から、第64回北大祭でコロナ感染が疑われる事例について情報提供を求められた場合は、速やかに保健所からの情報の提供に応じます。

2. 参加団体へのお願い

第 64 回北大祭への参加を希望する団体に対して、上記の「第 64 回北大祭に参加する全ての方が実施する事項」を構成員各位に遵守していただくほか以下の点にご協力いただきます。以下の点にご協力いただけない場合、第 64 回北大祭への参加をお断りする場合があります。

なお、コロナ対策について参加団体へ協力を呼び掛ける事項をまとめた「新型コロナウイルス感染症対策 参加団体向けガイドライン」を作成（内容は本資料に準拠します）・配付し、説明会を実施することで内容の周知を徹底します。また、第 64 回北大祭期間中はこれらの内容が守られていることを北大祭スタッフの巡回により確認します。

- (1) 事前の打ち合わせや準備等では構成員間の感染リスクを低減するような対策を実施し、必要に応じて遠隔会議システム（Zoom など）を活用すること。
- (2) 企画内容において感染拡大防止を考慮し、以下のような企画内容を避けること。
 - 参加者が飲食以外でマスクの着脱が求められるもの。
 - 不特定多数の人が触れる箇所があるが、その部分の消毒が難しいもの。
 - 企画の運営のため、大人数が参加せざるをえないもの。
 - こまめな換気を行うことが難しいもの。
 - 会食を行うもの。
- (3) 全学実行委員会が作成・配付する、発熱や咳等の症状の有無や行動履歴を記録する「健康チェックシート」を利用して、直近 2 週間における参加団体構成員全員の健康状態を管理すること。
- (4) 必要以上の物品の共用を避け、不特定多数の人が触れやすい場所や備品の消毒を少なくとも 1 時間に 1 度行い、消毒が必要な箇所付近に手指消毒用の消毒液を設置すること。
- (5) 清掃やごみの廃棄など作業を行う者は必ず手袋（ゴムまたはビニール製）を着用すること。
- (6) 清掃やごみの廃棄などの作業を終了後、手洗いおよび手指の消毒を行うこと。
- (7) 大人数での密集が避けられるシフトを作成、管理すること。
- (8) 屋内企画において、こまめな換気を実施すること。
- (9) 屋内企画において、使用する部屋の収容率を 50%以内とすること。
- (10) 屋内企画において、出入口を制限するなどの動線管理を行い、参加団体構成員が密にならない工夫をすること。

補足2,1) 参加団体への周知方法・チェック方法の工夫

上記の「参加団体へお願いする事項」を参加団体へ事前に周知する方法および当日にチェックを行う方法を効果的に実施するため、以下のような工夫を行います。

- 参加団体向けの新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを作成、配付すること。
- 2時間に1度の北大祭スタッフによるチェックを行うこと（詳細は3.「北大祭スタッフの取り組み」に記載）。

補足2,2) 食品提供を伴う模擬店のコロナ対策

食品提供を行う模擬店には、さらに以下の点を遵守していただきます。以下の点にご協力いただけない場合、第64回北大祭における営業停止をお願いする場合があります。詳細は、当実行委員会作成の「第64回北大祭における食品提供縮小案」を参照してください。

- (1) 営業時間中は必ず手袋（ゴムまたはビニール製）と不織布マスク、フェイスシールドを着用すること。
- (2) 作業を変更する際は、必ず手洗いおよび消毒を行うこと。また、同じ作業を継続する場合でも、30分に1度手洗いおよび手指の消毒を行うこと。
- (3) 調理や受付での大声を控えること。
- (4) 模擬店を訪れた全ての参加者に手指の消毒を行うこと。

3. 北大祭スタッフの取り組み

当実行委員会および各祭実行委員会において、「参加団体へお願いする事項」を構成員各位が遵守するほか、以下の取り組みを実施します。各項目にて具体的な運用方法を記載します。

1. マスク非着用の参加団体の構成員や来場者に対して声掛けを行い、必要に応じて不織布マスクを配付します。

→札幌キャンパス全域で活動する全ての北大祭スタッフの定常業務として運用します。

2. 札幌キャンパス各所に設置された消毒液の残量を確認し、必要に応じて補充します。また、不特定多数の人が触れやすい場所や備品の消毒を定期的に行います。

→1時間に1度、北大祭スタッフが札幌キャンパス全域の必要箇所の消毒を行います。消毒液の残量確認は札幌キャンパス全域で活動する全ての北大祭スタッフの定常業務とし、残量の少ない消毒液を見つけた際は、補充担当者へ連絡、常時1名を補充担当者として確保します。

3. 上記の「参加団体へお願いする事項」が順守されていることを確認します。

→2時間に1度、北大祭スタッフが全ての参加団体へ確認を行います。

4. 体調不良者が発生した場合に備え、換気の良い救護室および案内者を確保します。

→従来「休養室」として借用していた高等教育推進機構 N141・N142 を用います。また、常時、シフトに入っていない北大祭スタッフを数名待機させ、体調不良者が現れた際の案内者として確保します。

4. 本件に関する連絡先

北海道大学大学祭全学実行委員会

実行委員長 川島 大和

MAIL : huf@hokudaisai.com